

令和 2 年度
事業 報 告 書



社会福祉法人富士市社会福祉協議会

目次

1. 概要.....	1
2. 会議開催状況.....	3
3. 事業実施状況.....	8
【広報啓発事業】	8
【地域福祉推進事業】	9
【生活支援体制整備事業】	12
【ボランティア活動育成事業】	13
【福祉相談事業】	19
【援護事業】	21
【共同募金運動】	22
【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】	23
【貸付事業】	24
【日常生活自立支援事業】	25
【成年後見支援センター事業】	25
【法人後見事業】	26
【介護サービス事業】	27
【障害サービス事業】	28
【社会福祉センターの運営】	30
【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】	30
【その他の事業】	31
【社協会費・寄附金の募集】	33

1. 概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大の影響により、計画した事業の中止や縮小を余儀なくされた1年となりました。

昨年3月25日から開始した生活福祉資金の特例貸付においては、新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業となり減収となった方を対象に生活費の貸付を行い、緊急小口資金特例貸付では申請件数1,311件、申請額は232,200,000円におよび、総合支援資金特例貸付では申請件数550件、申請額は219,241,000円に達しました。日々寄せられる相談に対しては、職員を流動的に配置したり、臨時的に職員を雇用するなどして対応いたしました。

地域の高齢者の居場所であるふれあい・いきいきサロンにおいては、感染防止の観点から開催の中止を要請いたしましたが、集まらなくてもつながりを絶やさない方法として短時間での訪問や手紙や電話などでの近況確認をするなど、コロナ禍でもできることをメニュー化し各サロンへ周知をし、多くのサロンで創意工夫した取り組みが実施されました。

以下、令和2年度事業計画における重点目標を中心に事業執行状況を報告いたします。

<令和2年度の重点目標>

1. 第5次地域福祉活動計画の策定
2. ユニバーサル就労支援事業の推進
3. 生活支援体制整備事業の推進
4. 中核機関設置に向けた成年後見支援センターの機能強化と市民後見人個人受任の推進
5. 社協法人設立50周年記念事業の実施

1. 第5次地域福祉活動計画の策定

令和3年度からの地域福祉の実践計画として本年度中の策定を目指してきた「第5次地域福祉活動計画」については、新型コロナウイルスが与える影響の長期化が見込まれる中、市とも協議の上、市の総合計画や「地域福祉計画」と歩調を合わせ、策定を1年間延期し、令和4年度から5年間の計画としたことから、本年度は、行政等関係機関との連携を図りながら、策定の枠組みの検討など準備作業を行いました。

2. ユニバーサル就労支援事業の推進

本年度から新たにユニバーサル就労支援センター相談支援グループとして再編された本事業につきましては、共同事業体として株式会社東海道シグマとタッグを組み、市から事業を受託いたしました。新たな体制のもとスタートしましたが、4月以降、新型コロナウイルスの影響で生活に困窮する方の相談が想定以上に寄せられたため、8月には職員2名を増員して相談体制を強化し、相談者の生活の立て直しに向けた支援を行いました。

3. 生活支援体制整備事業の推進

2025年問題に向けた地域共生社会づくりへの取り組みのひとつとして、「生活支援体制整備事業第1層コーディネーター業務」を市から受託し事業に取り組みました。活動については、新しい生活様式に基づいた活動が求められる中で各地区における支えあいのまちづくりに向けた話し合いの場づくりに関して、市内の各地域包括支援センターのコーディネーターと共に会議の企画や運営等に取り組みました。

また、例年開催している市民向けシンポジウムに代えて関係者向けの研修会を開催し、本事業に関わっている関係者間の事業に対する認識と目指す方向性の共有化を図りました。

4. 中核機関設置に向けた成年後見支援センターの機能強化と市民後見人個人受任の推進

昨年までに4名の市民後見人が誕生しています。令和2年度は新たに3名が市民後見人として家庭裁判所の選任を受け、計7名の市民後見人が順調に活動しています。市長申立案件を法人後見として受任し、市民後見人とのマッチング作業及び市民後見人支援機能としての監督業務も計画どおり進めることができました。

また、将来国が目指す地域権利擁護支援のネットワークづくりと成年後見制度の利用者がメリットを感じられるような受任調整機能のあり方については行政、専門職とのワーキンググループで方向性を示すことができました。

5. 社協法人設立50周年記念事業の実施

本会は昭和45年4月24日に社会福祉法人として認可成立し、本年度節目の50周年を迎えました。これを記念する主たる事業として11月に記念誌を発行、12月18日にはフィランセを会場に記念式典を開催しました。また、本会の「今」を映した記念動画も制作し記念式典において上映するとともに、社協ウェブサイトから記念動画を配信し、広く視聴できるようにしました。

その他、重点目標以外については、本会の基本理念及び職員行動指針を踏まえた人材育成計画を本年度と令和3年度の2カ年で策定するべく、取り組みを開始しました。

また、障害サービス事業においては、施設の老朽化が進む鷹身工芸社の建て替えに向けて職員間のプロジェクトチームを立ち上げ検討を進めました。

多くの事業で新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年ではありましたが、withコロナの視点でできることを模索しながら事業執行した1年となりました。

2. 会議開催状況

1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
(第1回) R2. 6.14 決議	(書面決議)	報第1号 評議員会の決議事項に係る書面審議の結果について 報第2号 本会对する所轄庁からの指導監査(一般監査)の実施結果報告について 議第1号 令和元年度事業報告について 議第2号 令和元年度決算について (監事監査報告について) 議第3号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更の承認について 議第4号 令和2年度補正予算について(第1号) 議第5号 役員選任候補者の推薦について 議第6号 評議員会への提案について ○新型コロナウイルス感染拡大を受けた本会の対応について
第2回 R2. 8.21	フィナンシャル東館 ボランティアルーム	報第3号 理事会の議決事項に係る書面審議の結果について 報第4号 評議員会の決議事項に係る書面審議の結果について 報第5号 会長及び常務理事職務執行状況報告 議第7号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会評議員選任委員会運営細則の一部を改正する細則の制定について 議第8号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則の制定について 議第9号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会パワーハラスメントの防止に関する規程の制定について 議第10号 令和2年度富士市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状贈呈候補者について 議第11号 評議員選任候補者の推薦について

第 3 回 R2. 11. 27	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第12号 評議員選任委員会の招集について ○社協法人設立 5 0 周年記念事業の進捗について ○令和元年度苦情概要について ○令和 3 年度採用正規職員の募集について ○社会福祉協議会会費収納状況について（中間報告） ○新型コロナウイルス感染拡大を受けた本会の対応について 報第 6 号 令和 2 年度上半期事業会計監査実施報告 議第13号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定について 議第14号 令和 2 年度補正予算について（第 2 号） 議第15号 評議員会の招集について ○令和 2 年度歳末たすけあい運動について ○令和 3 年度採用職員の募集について（中間報告） ○社協法人設立 5 0 周年記念式典について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について（中間報告）
第 4 回 R3. 3. 18	フィナンセ東館 ボランティアルーム	報第 7 号 会長及び常務理事職務執行状況報告 議第16号 令和 2 年度補正予算について（第 3 号） 議第17号 令和 3 年度事業計画について 議第18号 令和 3 年度予算について 議第19号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更の承認について 議第20号 小口資金貸付事業貸付金の欠損処分について 議第21号 事務局長の選任について 議第22号 役員選任候補者の推薦について 議第23号 評議員会の招集について

2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
定時 (第1回) R2. 6.29 決議	(書面決議)	報第1号 前回評議員会の決議事項に係る書面審議の結果について 議第1号 令和元年度事業報告について 議第2号 令和元年度決算について (監事監査報告について) 議第3号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更について 議第4号 令和2年度補正予算について (第1号) 議第5号 役員の選任について ○新型コロナウイルス感染拡大を受けた本会の対応について
第2回 R2. 12. 10	フィナンセ東館 ボランティアルーム	報第2号 前回評議員会の決議事項に係る書面審議の結果について 報第3号 令和2年度上半期事業会計監査実施報告 議第6号 令和2年度補正予算について (第2号) ○令和3年度採用職員の募集について ○社協法人設立50周年記念式典について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について (中間報告) ○令和2年度歳末たすけあい運動について
第3回 R3. 3.25	交流プラザ 会議室1	議第7号 令和2年度補正予算について (第3号) 議第8号 令和3年度事業計画について 議第9号 令和3年度予算について 議第10号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更について 議第11号 役員の選任について

3. 評議員選任委員会

	場 所	会 議 事 項
R2. 9. 18	フィナンセ東館 社協相談室	議第1号 評議員の選任について

4. 監 査

	場 所	会 議 事 項
R2. 5. 28	フィナンセ東館 育児研修室	○令和元年度決算会計及び業務監査
R2. 11. 5	フィナンセ東館 育児研修室	○令和2年度上半期会計及び業務監査

5. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
R2. 8. 21	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○令和2年度赤い羽根募金実施計画について ○令和2年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

6. 苦情解決第三者委員会

	場 所	会 議 事 項
R2. 7. 13	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○本年度苦情解決体制について ○昨年度の苦情等の事例報告

7. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
第1回 R2. 6. 8	フィナンセ西館 会議室1	○第1回理事会について ○6月以降の会議日程について
第2回 R2. 8. 18	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第2回理事会について ○8月以降の会議日程について

第3回 R2. 11. 20	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第3回理事会について ○12月以降の会議日程について
第4回 R3. 1. 29	フィナンセ西館 会議室1	○令和3年度に関する主な動きについて ○2月以降の会議日程について
第5回 R3. 3. 10	フィナンセ東館 社協相談室	○第4回理事会について ○4月以降の会議日程について

3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

(1) 富士市社会福祉大会

社会福祉功労者に対し、表彰状及び感謝状の授与式をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月12日(木)
- ・開催場所 ロゼシアター 小ホール
- ・内容 表彰式 被表彰対象者等 76人



表彰式①



表彰式②

(2) 社協の広報活動

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ウェブサイトの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員やボランティアが出演、また、社協への寄附や事業実施時等に報道メディアへの情報提供を積極的に実施するなど、様々な広報啓発活動を行った。

①広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年3回発行した。

- ・6/20号 新型コロナウイルスに負けない！社協と共に取り組むこと 他
- ・9/20号 新しい生活様式での福祉活動って？ 他
- ・新年号 助け合う幸せ 支え合う幸せ 他

広告協賛企業（敬称略）

ロゼ にじいろクリニック(医療法人財団新六会)	3回
小松クリニック(医療法人社団青葉会)	3回

②ラジオエフの活用

月1回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、地域住民、ボランティア等が年間12回出演し、社協事業のPRに努めた。また、災害時の連携を視野に入れた防災パートナーシップCMを毎月1回実施。その他、随時社協事業の広報媒体として協力を求め活用をした。

③ウェブサイトの充実

ICT（情報伝達技術）時代に応じた見やすいサイトを追求するとともに、わかりやすい福祉情報の発信に努めた。また、速報性の高い情報に関しては随時更新を行った。

④報道メディアへの情報提供を通じた事業等の周知

報道メディアに社協や福祉推進会等の事業及び社協への寄附等の情報を積極的に提供し、紙面や報道を通じて事業等の周知を行った。

（３）市民福祉まつり

ノーマライゼーションの理念に基づき、あらゆる人が気軽に心地よくふれあう場を創出し、福祉への理解を深め、共に生きるまちづくりをすすめることを目的に開催している。当会は、このまつりの実行委員会の事務局を担っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

①市民福祉まつり実行委員会（検討委員会）の開催

開催回数：5回（6／25、8／17、10／14、12／16、2／17）

内容：今後の市民福祉まつりのあり方について

主催：市民福祉まつり実行委員会

【地域福祉推進事業】

（１）地区福祉推進会

①地区福祉推進会の活動支援

「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、市内26地区の「地区福祉推進会」ごと担当職員を配置し、その地区に必要な資源開発・育成を行い、支え合い助け合いのまちづくりを地域住民の皆さんと共に実施した。また、各地区の実情に合わせ新しい生活様式に即した活動を実施した。



広見地区 サロン交流会



吉永地区 愛の家庭訪問

②地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のため、各地区で実施されている新しい生活様式に即した活動について情報収集と各地区への発信を行った。また、感染防止措置を講じる等工夫しながら開催しているサロン等の情報提供をし、各地域での繋がりづくりを推進した。

<正副会長会議>

- | | |
|------------|--|
| 8月 3日 (月) | 令和2年度の事業・研修会について
地区福祉推進会助成金について |
| 11月11日 (水) | 生活支援体制整備事業第1層協議体について
各地区における事業推進について |
| 3月30日 (火) | 地区福祉推進会助成金について
令和3年度富士市地区福祉推進会連絡会について |

<全体事業>

- | | |
|-----------|--|
| 9月 7日 (月) | 富士市地区福祉推進会連絡会
事業報告及び事業計画
社協助成金について
第5次地域福祉活動計画の策定に向けて |
|-----------|--|

③見守り・生活支援活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し、安否を確認した。

- | | |
|----------|---|
| <富士南地区> | 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施 |
| <吉永地区> | 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施 |
| <岩松地区> | 近隣の方（みまもり隊）が日常的なこえかけを実施 |
| <富士駅南地区> | 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生月等に訪問
「地域支え合いマップ」の作成 |

- ＜富士駅北地区＞ 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施
- ＜富士北地区＞ 近隣の方（こえかけボランティア）が日常的なこえかけを実施
- ＜大淵地区＞ 回覧版を手渡しで行い、安否確認を実施
生活上の困りごと対応 「城山町お助け隊」支援
- ＜原田地区＞ 地区民生委員と推進会委員で見守りが必要な世帯に
年1回訪問。その後は、推進会委員による見守りを実施。
地区定例会ごとに状況報告を行っている。

（２）ふれあい・いきいきサロンの推進

ふれあい・いきいきサロンは、日常生活の基盤である地域社会において、高齢者や障がい者の孤独感等の解消並びに介護予防を目的とした組織。ふれあい・いきいきサロンを地域住民が自主的・自発的に取り組み、地域にとけ込んだふれあいと見守りの場となりえるよう支援した。コロナ禍でも工夫して取り組めるように、集合に限定せず、訪問、手紙、電話なども取り入れながら、繋がりを保てるように、サロンの幅を広げた。

- ・対 象 家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 165カ所 （3月31日現在、休止中を除く）
- ・全サロン対象アンケート 11月実施

市内全サロンを対象とし、コロナ禍でのサロン活動に関するアンケートを実施。結果を全サロンに提供。

【地域福祉活動計画による令和2年度の主な取組目標】

- ①サロン開設数 200ヶ所
- ②モデル地区への支援 2ヶ所

【実績】

- ①サロン開設数 165ヶ所

今年度については各サロンへの情報提供に力を入れ、企業の社会貢献活動に繋げる形での情報提供を計8回行った。

- ②モデル地区への支援 0ヶ所

（３）こども食堂への補助

子どもたちが放課後等に食事や学習、地域交流を通じて安心して過ごせる居場所であるこども食堂への助成を行い、子どもを孤立させない地域づくりを支援した。

- ・助成先 1件 NPO法人ゆめ・まち・ねっと 0円食堂

(4) さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みをおこない、委託先の方がひと声かけながら乳酸菌飲料（ヤクルト）を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売㈱
- ・訪問日 週3回が基本

【地域福祉活動計画による令和2年度の主な取組目標】

- ①利用者数（月平均） 500名
- ②関係機関との連携強化

【実績】

- ①利用者数（月平均） 460名
- ②地域包括支援センターと民生委員の連携により新規申請に至るケースもあった。ヤクルトと民生委員間での見守り情報共有も密に行われ、利用者の状況に合わせた変更連絡も円滑に行われている。

(5) 地域活動団体への助成

- | | |
|--------------------|------------|
| ・地域福祉活動費（町内会）助成 | 2,471,100円 |
| ・民生委員児童委員活動実費弁償費助成 | 434,000円 |
| ・民生委員児童委員協議会活動費助成 | 300,000円 |
| ・女性ネットワーク富士活動費助成 | 100,000円 |
| ・人権擁護委員会助成 | 70,000円 |

(6) 第4次地域福祉活動計画の進捗評価

第4次地域福祉活動計画における各事業の令和元年度までの進捗状況について評価検証を実施した。第5次地域福祉活動計画の策定については、市の総合計画や地域福祉計画と歩調を合わせ、次年度に1年延期した。

【生活支援体制整備事業】

(1) 第1層生活支援コーディネーター業務の推進

生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、富士市より ※第1層コーディネーター業務を受託し、市全域で支え合い・助け合い活動が広がるよう基盤整備と関係機関ネットワークの構築などを行った。また、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、市民対象の講演会ではなく関係者向けの研修会を開催した。

・第1層協議体会議

- 10月 1日（木） 伝法お出かけバスについて
令和2年度市民向け啓発事業について
- 12月 書面開催 お宝さがしの手法について
令和2年度関係者向け研修会について
- 2月 書面開催 第2層活動報告（大淵地区）
寄せられた地域のお宝情報について

・生活支援コーディネーター連絡会

- 9月 8日（火） 生活支援サポーター養成講座の実施について
- 11月20日（金） 各地区の進捗状況、今後の生活支援体制整備事業について、地域のお宝紹介カード（案）について
- 1月25日（月） 各地区の進捗状況、地域のお宝紹介カードについて、研修会について

・生活支援体制整備事業関係者研修会の開催

- 3月17日（水） 基調講演「お宝さがしで地域づくり」
講師 全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田 昌弘 氏
参加者 37名

※第1層生活支援コーディネーターとは、富士市域全域の福祉活動団体を組織化し、支援を必要としている人への働きかけや、助け合い組織立ち上げ支援、行政への働きかけ、施策提言をおこなう人

（2）地域包括ケア体制の構築に向けた地域支援

生活支援・介護予防に関する地域支援や地域住民主体の支え合い・助け合いがふれるまちづくりのため、※第2層生活支援コーディネーターと協働し各地区担当職員も地域資源の育成・活動支援を行った。

- ・各地区地域ケア会議、個別ケア会議への参加

※第2層生活支援コーディネーターとは、小学校区を単位として、生活支援のニーズ把握や社会資源の把握、サービスの開発を地域住民と共におこなう人

【ボランティア活動育成事業】

（1）ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開館日	28	26	29	28	29	27	30	27	27	27	27	30	335	329

利用者数	0	0	0	114	279	270	318	265	209	110	160	267	1,992	5,558
1日平均	0	0	0	4.1	9.6	10.0	10.6	9.8	7.7	4.1	5.9	8.9	5.9	16.9

①ボランティアのニーズ調整

- ・ボランティア対応 延べ 611人

【地域福祉活動計画による令和2年度の主な取組目標】

- ①相談件数 250件

【実績】

- ①相談件数 54件

内訳	ボランティア活動希望	32件
	ボランティア依頼	22件

②ボランティア保険

- ・加入者数 2,583人
- ・事故対応 2件

③富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する研修を実施した。

- ・毎月第1金曜日 定例会開催

【地域福祉活動計画による令和2年度の主な取組目標】

- ①登録団体 60団体

【実績】

- ①登録団体 38団体（登録者数 577人）

④ボランティア団体への助成

- ・ボランティア連絡会助成 100,000円
- ・災害ボランティア連絡会助成 200,000円

(2) 車いす移送車両運行事業

①移動支援

車いす使用者の通院・リハビリ、公的機関の手続き等にリフト付ワゴン車で送迎を行うサービスを実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4月～8月、1月～2月は活動を休止した。

・利用件数	77件
・走行距離	6,408km
・利用登録者数	34人
・移送ボランティア登録者数	53人
・延べ活動者数	230人

②車いす移送車両貸出

車いす使用者に対して、移送車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

・貸出件数	87件
-------	-----

③運転ボランティア研修会

車いす移送車両運行事業の説明及び交通安全講習・実技、新規ボランティア加入の依頼、ボランティア間の交流を深める目的で研修会を開催している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(3) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内外の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携及び協力を図るため、活動に係る連絡や調整を行った。

・対象企業及び事業所	5社
------------	----

【地域福祉活動による令和2年度の主な取組目標】

①支援企業	3社
-------	----

【実績】

①支援企業	5社
-------	----

(4) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、7月20日まで休館とした。

・開館日	火・木曜日	10:00～11:30
	日曜日（障がい児のみ）	10:00～11:30
・定員	親子合わせて10名まで。事前予約制。	
・協力団体	ふじおもちゃ図書館ボランティア	36人
・会場	ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階）	

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年同期
利用者数	0	0	0	17	43	38	46	49	35	29	14	63	334	4,035

<貸館>

本来はふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び子育てグループ等の団体に託児や交流のスペースとして貸館を行っているが、令和2年度については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、休館とした。

（５）富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア支援本部開設訓練等を実施した。

・加入団体 12団体

富士市災害救援バイク隊『ペガサス』

富士市アマチュア無線非常通信協力会

災害ボランティアコーディネーター富士

静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部

富士市ボランティア連絡会

静岡県看護協会富士地区支部

富士R B

富士市まとい会

家具やしめ隊

富士市赤十字奉仕団

常葉大学ハルジオン

災害ボランティアコーディネーター富士川

・災害ボランティア支援本部開設訓練

開催日 1月13日（水） 19：00 ～ 21：00（情報共有会議）

16日（土） 7：30 ～ 10：30（開設訓練）

場 所 富士市フィランセ、富士川ふれあいホール、田子浦荘

内 容 災害時を想定した情報共有、オンラインを活用した情報伝達訓練、
コロナ禍のボランティア受入訓練、
蒲原災害VC・由比災害VCとの情報訓練 他

参加者 25名

(6) 家具固定ボランティア講座

団塊の世代を含め、企業、勤労者及び退職者等を対象に、特に、男性ボランティアが活動できる環境を創出するため、家具固定の方法を学び、ひとり暮らし高齢者や女性のみで構成された世帯等の支援を行うボランティアを養成する講座を開催している。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(7) 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティア新規加入と現在活動中ボランティアのスキルアップを図るために、講座を開催している。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(8) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月２回発行される「広報ふじ」やその他「警察だより」「市議会だより」「お元気ですか」「暮らしの情報」等をＣＤに吹き込み作成し視覚障がい者に郵送により情報提供した。

- ・利用者 24人
- ・協力団体 5団体（やまびこ５月号・２０月号、すみれ、Ｃ３ＰＯ、秋桜）

(9) 子育て支援講座

子育て中の方に、コロナ禍においても学びの機会をもってもらえることを目的に開催した。

- ・開催日 3月13日(土) 10:00～11:30
- ・方 法 ZOOM開催
- ・内 容 講義「子育てに大切な自己肯定感をアゲるコツ」
- ・講 師 ふじ子育て応援団ママかぐや代表 西澤昇子 氏
- ・対象者 子育て中の方、子育て世代を応援したい方
- ・参加者 17人

(10) 初級ボランティア講座

ボランティア活動に興味のある方、これからボランティア活動を始めようと考えている方、ボランティア活動を既に行っている方を対象とし、ボランティアに関する知識を講座で学び、また、実際に活動を行っている方からの話をとおして、ボランティア活動を始めるきっかけづくりや、更なる活動の輪を広げることを目的として初級ボランティア講座を開催している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(11) 福祉教育の推進

①福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材の定着及び確保を目指し、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

<実行委員会>

- ・内 容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。
- ・開催日 10月29日(木)、12月10日(木)、3月9日(火)
全3回開催
- ・委員数 10人

<研修会第1弾>

- ・開催日 1月28日(木)・2月9日(火) 13:30～15:00
- ・方 法 ZOOM研修会
- ・内 容 講義「仲間と一緒に成長できる自律型人材をめざして」及びグループワーク
- ・講 師 社労士オフィスろーど 代表 大道和哉 氏
- ・対象者 社会福祉施設等の職員と実行委員
- ・参加者 48人(1月28日:25人、2月9日:23人)

<研修会第2弾>

- ・開催日 2月18日(木)・3月9日(火) 13:30～15:00
- ・方 法 ZOOM研修会
- ・内 容 講義「コロナ禍の今こそ、自己を改革しよう!!」及びグループワーク
- ・講 師 社労士オフィスろーど 代表 大道和哉 氏
- ・対象者 社会福祉施設等の職員と実行委員
- ・参加者 49人(2月18日:25人、3月9日:24人)

②夏休み福祉なんでも学習

夏休みの自由研究の課題や福祉全般についての学習のヒントとなる体験型学習会をおこなう。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

③福祉体験（車いす、アイマスク等）や福祉講話の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位および福祉施設において、体験学習や福祉に関する講話・相談等を行った。

・5校 1施設 市内小中学校・高校・養護老人ホーム等にて

④福祉体験機材の貸出

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アイマスク	アイマスク・白杖	シニア	右マヒ	点字盤	ボッチャ	触感体験
個数	83	0	62	50	10	0	23	0
回数	10	0	6	7	3	0	13	0

内訳	学 校	14
	地 区	4
	施 設	2
	その他	4

⑤福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

・図書等の貸出

福祉図書 0冊 ビデオ・DVD 9件

CD 0件

・貸出利用券新規発行者数 1人

【福祉相談事業】

（１）結婚相談

結婚相談員による結婚に関する相談及び交際の仲立ち（引き合わせ）を行った。

・開所日 毎週水曜日、毎月第1・第3土曜日、第2・第4日曜日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月は電話対応のみとして、7月から予約制にて開所した。

・相談状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開催日数	8	7	6	9	7	7	8	8	8	7	8	8	91	92
相談件数	186	86	305	441	296	264	287	231	281	195	263	266	3,101	4,505

- ・登録者数 1, 232人（前年1, 172人）
- ・引き合わせ組数 127組（前年201組）
- ・引き合わせ成立組数 80組（前年95組）
- ・結婚成立件数 9組（前年11組）
- ・自分磨きセミナー（計2回） 参加者 5人

（２）心配ごと相談の運営

フィランセ東館1階事務局内にて相談員1名を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のために電話相談（64-3294）を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

<相談状況>

相談件数 532件

<内訳> 来所相談 23件 電話相談 509件

その他 0件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	45	33	35	51	47	39	61	42	45	43	47	44	532	712

相談内容	件数	前年
福祉サービス等の利用相談	0	8
自立生活についての相談	27	71
家庭生活についての相談	38	83
教育に関する相談	0	0
就労に関する相談	10	47
医療・健康に関する相談	11	17
虐待に関する相談	3	4
その他	450	512
合計	539	742

重複回答あり

【援護事業】

（１）罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

・全焼	4件	120,000円
・半焼	2件	40,000円

（２）緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯に対し、世帯の自立更生に繋がるよう5万円を限度に援護を行った。

・生活援護	1件	43,000円
-------	----	---------

（３）児童援護事業

・低所得世帯小中学校入学支度費支給	1,938,000円
・低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給	2,278,000円
・児童遊び場設置費助成	293,000円

<児童福祉団体への助成>

・子ども会世話人連絡協議会助成	300,000円
-----------------	----------

（４）障害者援護事業

①福祉機器リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器やベビー用品を無償で提供していただける方と譲り受けた方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

・対 象	不用になった福祉機器やベビー用品を譲りたい方 不用になった福祉機器やベビー用品を必要とする方		
・費 用	無料（運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担）		
・物 品	福祉機器・介護用品・ベビー用品 (直接身体に触れる物品は未使用のもの)		
・実 績	譲ります情報 67件	求めます情報 68件	成立 54件

②車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間（2週間）車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
貸出件数	14	12	14	15	22	18	21	34	25	21	15	18	229	281

③障がい者福祉団体への助成

・手をつなぐ育成会運営助成	300,000円
・身体障害者福祉会運営助成	200,000円
・視覚障害者福祉会運営助成	50,000円
・聴覚障害者協会運営助成	70,000円

(5) 高齢者援護事業

①敬老会への助成

敬老会が中止された事に伴い、開催に対する助成を行わなかった。

②家族介護者交流事業

在宅において、寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護している方々の親睦を図るとともに、日頃の介護の疲れを癒すことを目的に開催している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

③高齢者福祉団体への助成

・悠容クラブ連合会助成	200,000円
・認知症の人と家族の会助成	100,000円
・在宅介護者家族の会助成	50,000円

(6) 交通遺児援護事業

・交通遺児等入学祝	55,000円
・交通遺児等育英奨学金支給	780,000円
・交通遺児等育英奨学生 進級祝	15,000円
・交通遺児等育英奨学生 卒業祝	20,000円

【共同募金運動】

(1) 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、令和2年度は次のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

- ・実施期間 10月1日 ～ 12月31日
- ・協力団体 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区 分	目 標 額	実 績 額
町内募金	14,700,000円	14,937,500円
篤志・法人募金	5,500,000円	3,739,525円
街頭募金他	1,332,000円	1,575,481円
合 計	21,532,000円	20,252,506円

(前年同期 22,439,272円)

(2) 歳末たすけあい運動

この運動は、赤い羽根共同募金運動の一環として行われるもので、「つながり、ささえあう、みんなの地域づくり」をスローガンに、低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう配分を行った。

<配分結果>

- ・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

547世帯 1,423人 7,516,000円

ねたきり 16人 認知症 7人

重度心身障がい児(者) 58人 両親のいない児童 17人

- ・福祉施設利用者

施設 5カ所 里親 9世帯 計 76人 466,000円

合 計 7,982,000円

<募金結果>

・会社職域関係 611,801円

・団体関係 389,749円

・学校関係 46,531円

・個人 377,054円

・たすけあい袋 8,091,822円

合 計 9,516,957円

【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】

フィナンセ東館1階に生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるユニバーサル就労支援センターを再編し、その相談支援グループを(株)東海道シグマと共同事業体を設立し運営を行った。8名の相談員を配置し相談者の抱えている課題を適切に評価・分析し、その結果を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援を行った。また生活福祉資金貸付担当者と連携しながら相談を受け、必要な場合は適切に関係機関へのつなぎを行った。事業の周知に関して、チラシを配布し市民への情報提供を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談件数	231	226	181	120	136	140	145	109	100	125	157	200	1,870
プラン作成件数	19	38	45	52	39	48	45	46	41	26	18	56	473
就労支援対象者数	8	12	17	13	15	19	9	23	13	16	9	31	185

【貸付事業】

（１）高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付 160件 16,653,886円

<内 訳>

1. 高額療養費 94件 15,205,017円

2. 重度医療費 43件 617,029円

3. 母子医療費 23件 831,840円

（２）生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金 12件 5,087,000円

・福祉資金（福祉費） 1件 272,000円

・福祉資金（緊急小口資金） 4件 400,000円

・総合支援資金（生活支援費） 4件 1,425,000円

合 計 21件 7,184,000円

新型コロナウイルス感染症に伴い、休業や失業により減収した方を対象に生活費の貸付を特例的に行った。

・緊急小口資金特例貸付 1,311件 232,200,000円

・総合支援資金特例貸付 550件 219,241,000円

合 計 1,861件 451,441,000円

（３）小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に必要な生活資金を5万円を限度に無利子にて貸付け、世帯の自立支援を行った。

・貸付 20件 514,000円

行政と連携し、新たに決定した生活保護世帯に対し生活保護費初回支給日までの生活費等の資金を5万円を限度に無利子にて貸付、切れ目のない支援を行った。

・貸付 85件 2,995,000円

【日常生活自立支援事業】

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。専門員4名 生活支援員30名で対応。

- ・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方
- ・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

区 分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	前年
問合せ件数	302	210	183	899	1,594	
初回相談件数	16	11	8	5	40	55
相談援助件数	1,559	1,837	1,893	442	5,731	5,829
現契約件数	14	26	17	6	63	67

【地域福祉活動計画による令和2年度の主な取組目標】

①利用契約件数 95件

【実績】

①利用契約件数 63件

内訳	認知症高齢者	14件	知的障害者	26件
	精神障害者	17件	その他	6件

【成年後見支援センター事業】

(1) 成年後見事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として相談援助を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	16	21	24	17	16	18	25	16	17	15	24	33	242	197

【地域福祉活動計画による令和２年度の主な取組目標】

①相談件数 240件

【実績】

①相談件数 242件

＜成年後見制度個別相談会＞

- ・日 時 3月6日（土）9～12時
- ・対象者 事前予約で受付した6名（高齢者相談2件、障害者相談4名）

（２）市民後見事業

＜市民後見人の研鑽＞

市民後見人候補者27名が日常生活自立支援事業生活支援員として活動を行いながら、身上保護及び財産管理の実際を通じて利用者支援に協力いただいた。

センターはその援助を行い候補者のサポートを行った。

＜市民後見人名簿登録者継続研修＞

市民後見人名簿登録者27名が日常生活自立支援事業の生活支援員となり、引き続き研鑽を継続し、そのフォローアップ、モチベーション維持のために継続研修を開催した。

開催日：12月開催

内 容：市民後見人の行った死後事務事例について
親族対応、家裁への許可申請、引渡しまで

＜市民後見人受任調整会議＞

名簿登録者の中から法人後見業務を担った4名の受任調整を実施した。

＜市民後見人誕生＞

今年度新たに保佐人1名、後見人3人目の市民後見人が選任された。

3月末で合わせて7名の市民後見人が活動している。

＜監督人＞

上記4名の市民後見人監督人として社協が選任され、合計7名の監督人となった。

【法人後見事業】

＜成年後見等審査委員会＞

4回開催 6名の案件を協議し5名を受任、1名が見送りとなった。

＜法人後見受任＞

家庭裁判所・行政と協議を行い、市民後見個人受任を見据えた5人を新たに法人後見として受任した。3月末で9件受任。

【地域福祉活動計画による令和２年度の主な取組目標】

①受任件数 6 件

【実績】

①受任件数 5 件

【介護サービス事業】

(１) 介護保険関連事業

①居宅介護支援事業

- ・利用者延べ人数 3,926 人
(事業対象者…315 人 要支援…989 人 要介護…2,622 人)
- ・利用者内訳 事業対象者…315 人(8.0%) 要支援 1 …346 人(8.8%)
要支援 2 … 643 人(16.4%) 要介護 1 …904 人(23.0%)
要介護 2 … 811 人(20.7%) 要介護 3 …482 人(12.3%)
要介護 4 … 298 人(7.6%) 要介護 5 …127 人(3.2%)
- ・介護認定調査 42 件(富士市…28 件、県内他市町…5 件、県外…9 件)

②訪問介護事業

- ・利用者訪問延べ回数 6,776 回
(事業対象者…253 回 要支援…1,022 回 要介護…5,501 回)
- ・利用者内訳 事業対象者…253 回(3.7%) 要支援 1 … 334 回(4.9%)
要支援 2 … 688 回(10.2%) 要介護 1 … 388 回(5.7%)
要介護 2 … 872 回(12.9%) 要介護 3 …3,032 回(44.7%)
要介護 4 … 234 回(3.5%) 要介護 5 … 975 回(14.4%)

③通所介護事業(富士川デイサービスセンター)

- ・開所日数 309 日
- ・利用延べ人数 12,093 人
(事業対象者…838 人 要支援…595 人 要介護…10,660 人)
- ・利用者内訳 事業対象者…838 人(6.9%) 要支援 1 … 109 人(0.9%)
要支援 2 … 486 人(4.0%) 要介護 1 …4,424 人(36.6%)
要介護 2 …3,119 人(25.8%) 要介護 3 …1,666 人(13.8%)
要介護 4 …1,117 人(9.2%) 要介護 5 … 334 人(2.8%)

(2) 障害福祉サービス事業

① 居宅介護

- ・利用者数 35 人
- ・延派遣回数 3,578 回
- ・延派遣時間数 4,141 時間 05 分

② 同行援護

- ・利用者数 17 人
- ・延派遣回数 702 回
- ・延派遣時間数 1,582 時間 25 分

③ 移動支援

- ・利用者数 6 人
- ・延派遣回数 219 回
- ・延派遣時間数 330 時間 10 分

【障害サービス事業】

(1) 障害者就労支援施設等の運営

就労継続支援B型事業所 9 か所、生活介護事業所 1 か所を運営し、利用者に対し、生産活動や創作的活動の機会を提供するとともに、社会生活を営む上で必要となる支援を行った。

「吉原つくし生活介護」を新築移転し、定員 20 名の生活介護事業所「オリーブの丘」を開所した。『ゆったり、たのしく、自分らしく』をモットーに、入浴サービスや外出支援などにも取り組んだ。

「ふれあいショップあゆみ」「吉原つくし」で送迎サービスを開始。全事業所での送迎サービスが実現した。

< 就労継続支援B型事業所（9 事業所） >

- ・利用者人数 150 人 男性 84 人 女性 66 人
- ・平均年齢 約 42 歳 最年長 73 歳 最年少 19 歳

事業所名	開設年月日	利用者数	月平均工賃	主な自主製品等
吉原つくし	S55.4.7	21 人	11,590円	手染め製品 名刺印刷
竹の子	S63.4.1	20 人	9,666円	手作り石けん ビーズ製品

ひめな	H8. 10. 1	1 6 人	19,450円	縫製品 苔玉
ふれあいショップ あゆみ	H1. 10. 1	8 人	11,259円	手作りパン ラスク各種
ふじひろみ	S53. 6. 1	1 2 人	14,770円	ぼかし・コサージュ ぷくぷく（入浴剤）
市民ふれあい バンク	S58. 8. 1	1 9 人	23,869円	手作り石けん リサイクル品回収販売
鷹身工芸社	S59. 8. 1	2 1 人	7,881円	トールペイント 花の苗作り・ぼかし
ふじばら作業所	H1. 4. 1	1 9 人	12,836円	ふじ山キャンドル ぼかし・陶芸品
まつぼっくり	H13. 4. 1	1 4 人	14,027円	手作り菓子各種 （クッキー等）

<生活介護事業所（1事業所）>

- ・利用者人数 1 8 人 男性 1 0 人 女性 8 人
- ・平均年齢 約 3 6 歳 最年長 5 7 歳 最年少 1 8 歳

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
オリーブの丘	R2. 4. 1	1 8 人	てすきカレンダー てすきしおり・ぽち袋

（２）職員研修

職員の資質向上を目的に、各所ごとで、また障害サービス室全体で、研修に取り組んだ。コロナ禍ゆえ、大人数とならないよう心がけた。

<主な研修>

- ①新型コロナウイルスの影響・対応について（7～8月）
- ②Web研修・障害者支援に求められること（7～8月）
- ③Web研修・就労支援について（10月）
- ④図書装丁体験（11月）
- ⑤感染症対策（11月）
- ⑥虐待研修会（1～2月）
- ⑦事例検討会（2月）

(3) 特定相談支援事業

障害者就労支援施設等の利用者やその家族が、障害福祉サービスを適切に利用するため、サービス等利用計画の作成をはじめとした相談支援事業を実施した。

【地域福祉活動計画による令和2年度の主な取組目標】

①契約件数 220件

【実績】

①契約件数 229件

内訳 社協就労継続支援B型事業所・生活介護事業所利用者 158人
その他（社協居宅介護利用者・他事業所利用者） 71人

【社会福祉センターの運営】

富士市からの指定管理者として社会福祉センター（広見荘、田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ）の管理を行い、高齢者をはじめ市民の健康増進や憩いの場として提供した。

利用状況

項 目	広見荘	田子浦荘	東部市民 プラザ	鷹岡市民 プラザ	合 計	前 年
高 齢 者	13,956人	11,923人	10,519人	10,242人	46,640人	120,781人
障がい者	149人	73人	13人	43人	278人	1,181人
児 童	29人	1人	0人	0人	30人	459人
そ の 他	144人	66人	5,029人	1,052人	6,291人	18,916人
合 計	14,278人	12,063人	15,561人	11,337人	53,239人	141,337人
開 館 日 数	233日	233日	233日	233日	233日	254日
1日平均利用者数	61人	52人	67人	49人	229人	556人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月・5月は臨時休館。6月から制限付きで再開した。

【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】

(1) 生きがいデイサービス

在宅で閉じこもりがちな高齢者を対象に、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所 健康クラブ （広見荘 毎週水・金）
あったかクラブ（鷹岡市民プラザ 毎週火・木）
うららかクラブ（富士川地域福祉センター 毎週月～土）

・開所日数	健康クラブ	81日
	あったかクラブ	82日
	うららかクラブ	268日
・延利用者数	健康クラブ	533人
	あったかクラブ	590人
	うららかクラブ	1,602人

※健康クラブ・あったかクラブについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月は公会堂を借用して実施。5月は休止とした。

(2) 健康づくりデイサービス

要支援状態等にある高齢者を対象として、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に、介護予防サービス計画または介護予防ケアマネジメントの内容に沿って、生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	(広見荘 毎週水・金)
	あったかクラブ	(鷹岡市民プラザ 毎週火・木)
	うららかクラブ	(富士川地域福祉センター 毎週月～土)
・開所日数	健康クラブ	81日
	あったかクラブ	82日
	うららかクラブ	271日
・延利用者数	健康クラブ	65人
	あったかクラブ	24人
	うららかクラブ	1,248人

※健康クラブ・あったかクラブについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月は公会堂を借用して実施。5月は休止とした。

【その他の事業】

(1) 社協災害対策本部開設訓練の実施

現実的な災害をイメージし、発災してから災害対策本部開設に至るまでの具体的な動きや役割を検証した。

・実施日	1月13日(水)
・内容	職員安否確認(安否確認メールシステムによる確認) 出先事業所の被害状況確認 災害対策本部開設の検討会議

(2) 実習受入

社会福祉向上と福祉教育の一環として、学生等を対象に福祉実習の受入を行った。

- ・実習受入数 42人
- （内訳）静岡県介護支援専門員実務研修 1人
- 看護師実習 41人

(3) 視察受入

当会の実施している諸事業について、概要説明を行い、施設見学の受入を行った。

- ・市公共施設見学受入 2件

(4) 富士市介護保険事業者連絡協議会の支援

介護保険事業者が相互の連携と、サービスの総合的な質の向上を行うことを目的に各種研修会を実施し、その事務局役割を担っている。

(5) 人事評価制度の実施

すべての職員が業績評価及び能力評価シートを作成し、上司との面談をとおして適正な目標を設定し、モチベーションを高め、組織の活性化及び市民福祉の向上を目指した。

(6) 法人設立50周年記念事業の準備及び開催

法人設立50周年の節目の年度を迎え、各種広報資材に記念のロゴマークと福祉の標語を記載した。また主要事業として記念誌の発行及び記念式典を開催した。他には記念動画も制作し記念式典において上映、社協ウェブサイトにも動画をアップロードし、広く視聴できるようにした。

- ・実行委員会 3回開催
- ・編集委員会 1回開催
- ・記念誌発行 A4版 カラー 60ページ 1,400部発行
- ・記念式典 ○日時 令和2年12月18日（金）10:00
- 場所 フィランセ西館4階 大ホール
- 内容 式辞、特別感謝状贈呈、来賓祝辞、記念動画上映ほか
- 出席者 55名（社協役員評議員等関係者）



記念誌



記念式典

(7) 社協職員人材育成計画の策定

本会の基本理念及び職員行動指針の実現を目指した職員研修体系及び人材育成計画の策定を目的として、管理職及び一般職員を対象に研修会を開催した。

【社協会費・寄附金の募集】

(1) 社協会費

6月を社協会員募集月間に定め、各世帯より普通会費、篤志家より特別会費、福祉団体及び福祉施設・福祉事業所より団体施設会費のご協力をいただいた。

- ・協力団体（敬称略） 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体
- ・実施状況

区 分	金 額	実績額
普通会費	各世帯 300円	24,041,200円
特別会費	個人・企業・法人 1000円以上	4,635,300円
団体施設会費	福祉施設・団体 1000円以上	310,000円
合 計		28,986,500円

(前年同期 30,223,800円)

(2) 寄附金

社会福祉協議会への寄附者は、下記のとおりです。

1. 一般寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
4	宗清倶楽部杯チャリティーゴルフ	12,300	8	匿名	50,000
	鈴木政義	10,000		鈴木政義	10,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		杉山勝	200,000
5	鈴木政義	10,000		井上和勇	100,000
	国際ソロプチミスト富士 会長 村松千恵子	100,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	石坂二・四組旅友会	79,547	9	静雲会	28,102
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		鈴木政義	10,000
6	鈴木政義	10,000		ADEKA労働組合	20,000
	時田祐佐	100,000		匿名	9,209
	渡邊節雄	100,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	匿名	100,000	10	川口晴美	10,000
	ヨガ健康クラブ	11,376		匿名	6,920
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		鈴木政義	10,000
	外木邦男	1,500		公立保育園退職園長食事会	8,416
				株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
7	匿名	85,920		匿名	20,000
	匿名	8,695	11	匿名	1,148
	鈴木政義	10,000		宗清倶楽部杯チャリティーゴルフ	18,100
	匿名	3,000		鈴木政義	10,000
	匿名	50,000		富士市グラウンド・ゴルフ協会	8,200
	匿名	100,000		匿名	563
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		興亜工業株式会社 代表取締役社長 藏元正隆	100,000

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
11	富士マンドリンクラブ	40,000	2	A D E K A 労働組合	20,000
	匿名	30,000		原田真弓	21,480
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		匿名	30,000
12	匿名	10,000		鷹小 20 年卒同窓会 会長小林省吾	28,000
	匿名	2,375		天間地区民生委員児童委員協議会	1,000
	匿名	30,000		鈴木政義	10,000
	NPO法人楽しいことやら座	30,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	鈴木政義	10,000	3	一般社団法人岳南法人会	500,000
	匿名	20,000		匿名	40,000
	諏訪部弘	20,000		富士市福祉事業協力会	200,000
	中央静岡ヤクルト販売株式会社	109,436		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	田子浦親交会	109,436		匿名	100,000
	匿名	300,000		富士市建設業組合	100,000
	匿名	2,250		ジヤトコ株式会社CVT工場工場長鈴木優	98,500
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	78 件 3,443,214 円		
1	匿名	1			
	鈴木政義	10,000			
	匿名	10,074			
	匿名	23,599			
	匿名	4,067			
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000			

2. 社協各事業への指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
5	匿名	3,625	11	興亜工業株式会社 代表取締役社長 藏元正隆	100,000
6	匿名	42,358	12	まる二 殿岡正美	8,600
8	柚木義隆	100,000		匿名	50,000,000
10	本照寺 松原智善	10,000	3	匿名	10,000,000

8 件

60,264,583 円

3. 交通遺児指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額
7	富士地区貨物運送事業協同組合 理事長 吉野正則	300,000

1 件

300,000 円